

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまSun (放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害(知的・情緒など)別、発達状況に応じた個別支援ができています。</li> <li>・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人(保護者など)との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。</li> </ul>
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができています。</li> <li>・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。</li> <li>・言語聴覚士や公認心理師の相談を必要に応じて行っているが、実際の相談の機会が少ない現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。また、必要がある家庭に言語聴覚士や公認心理師とも相談ができることを周知していく。</li> </ul>
2	施設のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場から事業所までの間に、車いす等がスムーズに通過しづらい現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員がお手伝いしたり、車寄せできるようにしたりし、できる限りの配慮できるようにする。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 おひさまSun (放課後等デイサービス)

公表日 令和8年 2月 17日

利用児童数 令和7年9月30日 (27名)

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3	1	1	学童さんには手狭な風に思える。	おひさまSunでの午前の活動はお散歩で公園を活用したり、室内遊びの際は2部屋に分けて使うようにしたりしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1				配置基準が子ども10人に対して、職員2名となっていますが、お子さんに合わせて職員をプラスで1~2人配置するようにしています。学童グループも活動はマジックミラーからいつでも見て頂いて構いません。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2				お気付きの点等ありましたら、お知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1				お気付きの点等ありましたら、お知らせください。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			特性に応じた専門性のある支援はどこまで療育で求めてもいいのでしょうか？	活動前の打ち合わせや活動後の振り返り等で子どもの状態を共有して支援を考えたり、毎月のケースカンファレンスで支援の共有やより良い支援をチームで考えています。また、専門性のある支援についてもご相談いただければ対応したり、適切な機関をご紹介したりしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		1		契約時や新年度の際に支援プログラムをお渡しし、説明させていただいており、分離室や更衣室にも掲示しています。ご不明な点等ありましたら、お知らせください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				個別支援計画に基づき支援を行っています。今後も活動前の打ち合わせの際に個別支援計画の確認も行うようにしていきたいと思っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2		1		子ども達の状態に合わせて、支援ができるように内容をケースカンファレンス等でも確認しながら行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2		1		ご不明な点がありましたら、お知らせください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		1		子ども達同士の話し合い活動（ソーシャルスキル）を中心に、クッキングや屋外活動、プール活動も取り入れています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	4	6		公園で地域の子どもと一緒に遊んだり、児童館の子ども達と行事を行う機会を設けさせていただきました。また、現在児童クラブや少年団で活動している子どもたちもいます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23						負担金等につきましては、領収書をお渡ししています。また、ご不明な点がありましたらお知らせください。
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						今後も丁寧に説明をしていきます。
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1				児童ではそういう時間が多かったが、学童さんでは少し減ったように思う。	懇談会を通して講師を招いての勉強会や活動終了後に振り返りの時間を設けることがおひさまSunとしてのペアレントトレーニングと考えています。また何かありましたら、スタッフまでお申し出ください。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23				活動終了後の振り返りや個別に話をする時間を設けています。
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23				送迎時や面談等で保護者の方と色々なお話ができるように心掛けています。いつでもお気軽にお話ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1			これから共感的に支援ができるようにしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	5	1	保護者同士の交流、家族への支援は素晴らしいと思います。きょうだい向けのイベントは昔はあったのでしょうか？私たちが入所してから1度も無い為、そのようなイベントができれば嬉しいです。	児童発達支援と合同での懇談会を通し、交流が図れるように今後も検討をしていきたいと思っています。保護者会は設立していませんが、懇談会等を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。きょうだいの兄には、遠足等で一緒に活動できるようにしております。きょうだいの兄のみでのイベントは実施したことはありませんが、ご意見を参考にさせて頂ければと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23				活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもとより良い支援に繋がるように情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				保護者と子どものバイブル役となりながら必要に応じて個別に話を聞けるようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		1	毎月お便りをホームページに掲載、また、お知らせ等メールを使っての配信を行っています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1			・秘密保持義務において、守秘義務を徹底するように職員へ周知しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1			消防計画細則、緊急時や防犯に関してマニュアル等作成し、更衣室や分館室に掲示しております。緊急時のメール活用も想定し年に1回メール送信を踏まえた避難訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23				掲示での周知や緊急時のメール活用も想定し年に1回メール送信を踏まえた避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23				緊急時マニュアル等作成しています。子ども達が安全に活動できるように毎月安全チェックリストで確認しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1			外傷記録簿やヒヤリハットを作成しており、職員間でも回覧し周知しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23				子どもたちが安心感を持って通所できるようにしています。また、何かありましたらお知らせください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	3		1	楽しみにしています。学校とは違う体験ができることを楽しみにしています。子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。また、何かありましたらお知らせください。感染症対策や安全に気を付けながら、毎月、クッキング活動や屋外活動をしています。食育等に繋がる楽しみな活動にしていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			ご意見ありがとうございます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	おひさまSun (放課後等デイサービス)		公表日	令和8年 2月 17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて密にならないように活動を行っています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○		10:2の配置基準を満たし、追加で1名~2名配置し、子どもに合わせて活動を行っています。また、定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		室外・室内に関しては段差がある等整備が不十分なところがありますが、できる部分や心のバリアフリーを考慮配慮するようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、活動後に掃除を行い、週末には空気清浄機等の掃除も行っています。活動室は、子どもたちの集中が途切れないよう、最低限の掲示物のみを貼っています。また、触ると危険な物は手の届かない所に置くようにしています。また、定期的に玩具の消毒や掃除、草刈り、夏と冬に(年2回)大掃除を行っています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン等必要に応じて分室や相談室等個別の部屋を使用しています。また、パーティションも使用できるように準備しています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の活動や行事ごとに振り返りの時間を設け、職員全体で話し合いを行っています。また、月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童発達支援と合同での年4回の懇談会と放課後等デイサービス対象の懇談会を実施しています。	今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋げます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の振り返りや月1回の会議、必要に応じてその都度朝礼等で意見を把握する機会を設けており、改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部に評価はお願いしていませんが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページの掲載や懇談会で保護者に説明しています。また、分室室と更衣室に掲示をしています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。 ・外部で行われたアセスメントツール等の結果も情報共有して支援の参考にしています。また必要に応じて感覚プロフィールを実施をして評価しています。 ・書式を新しくして、項目を増やし、細かい部分まで設定できるようにしていることや目標に繋がりを持たせ、生活の中でねらいが達成できるように作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い活動中での子どもの様子を共有することで共通理解の元、作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		子どもに関わるスタッフ全員が個別支援計画を把握しています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動観察について日々の振り返りでスタッフと共有することや、前回の行動観察についてアセスメントしている。	

適切な支援の提供

関係機関や保護者との連携

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員同士で打ち合わせを行い、子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子ども達の話し合いを中心に行い、活動内容が固定化されないようになっています。子どもたちの利用が不規則の為、活動内容が同じになることもありますが、1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		様々な活動を組み合わせています。反省を活かし、職員会議や研修等で支援を工夫するようにしています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動の前に打ち合わせを必ず行い、利用児を受け入れた際に、保護者からの伝達事項は活動前に伝えるようにしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録や全体記録をとり、放課後等デイサービス計画等の作成に使用しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の話や連絡会等の内容を記載し、反映しています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を取り入れた活動を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		毎回の活動を子ども達と話し合う機会を作り、自分のやりたい遊びを選択できるようにしています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に参加し、グループ担当も参加するようにしています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との会議を通して、連携が回れる体制を作っています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年1回、小学校連絡会を行い情報共有や勉強会の機会を設けています。送迎を行っていないため、トラブル等は特におりません。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		小学校連絡会や幼保小連絡会を通して、情報共有や勉強会の機会を設けています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			小学生を対象としている為、対象児が現在いません。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		多機関連携勉強会を年2回行い、研修を受ける機会を設けています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公共施設や公園の利用を通して、地域の方や子どもたちとの交流につなげるようにしています。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎や活動終了後の振り返りを通して、話す時間を作っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年4回懇談会を実施しています。その際、専門職の先生や先輩ママ・パパを招いての勉強会を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		日々の振り返りや個別支援計画、電話相談等を通して、話す機会を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の説明後、署名をもらい保護者の方にも控えを渡すようにしています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の振り返りや個別支援計画、電話相談等を通して、話す機会を設けています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は設立していませんが、分離の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。また、きょうだい同士の交流は行事等を通して交流が出来るようにしています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談・意見等があった際にはすぐに、管理者等に報告し対応を検討するように心掛けています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりを作成し、ホームページ等でお知らせしています。また毎月25日までに次月のおたよりをアップできるような心掛けています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に書面を用いて説明を行い年度初めに書類を配布しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の施設を使用する等地域交流をしています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全計画を作成して掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応が出来るよう連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いて頂き、緊急連絡ができる状況を確認しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を作成し、閲覧できるようにしています。また、毎月避難訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。また、必要に応じて生活管理表や意見書等提出してもらい、把握するようにしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書の元、除去食の提供をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画をもとに火災や地震土砂災害や洪水を想定した訓練を行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		分離室や更衣室等に掲示しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人で虐待防止委員会を設置しています。また、研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時、身体拘束についての同意説明を行っています。また個別支援計画に記載していますが、基本、身体拘束は行っていません。	